

金沢21世紀美術館3月のプログラム

3
2015

2015年3月に実施される金沢21世紀美術館主催事業についてお知らせいたします。

各催しの告知ならびに当日のご取材など、ぜひ貴媒体にて報道して頂きたくお願い申し上げます。

各事業の詳細につきましては決まり次第随時お知らせいたします。

開催中の展覧会と関連プログラム

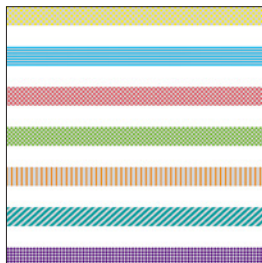


ジャパン・アーキテクト

ジャパン・アーキテクト 1945-2010

開催中～
2015年3月15日(日)

「ジャパン・アーキテクト1945-2010」はポンピドゥー・センター パリ国立近代美術館副館長のフレデリック・ミゲルー氏を監修・キュレーターに迎え、戦後の日本において大きな役割を果たしてきた建築家たちによる150を超えるプロジェクトを考察し、紹介する展覧会です。戦後に焦土化した国土を復興し始めた1945年から2010年までの65年間を、ミゲルー氏は6つのセクションに分け、各セクションのコンセプトに対応するカラー・コードを用いて、戦後日本建築を独自の視点で刺激的に読み解いています。本展は、日本建築の資料を多数所蔵するパリ・ポンピドゥー・センターからの出品を含め、建築家たちの思考の過程を示す貴重なオリジナル作品約300点によって、日本における建築家たちの業績を展観します。



ジャパン・アーキテクト

3.11以後の建築

開催中～
2015年5月10日(日)

2011年3月11日に起きた東日本大震災は、建築家と建築界に大きな意識の変化をもたらしました。津波の圧倒的な破壊力に、建築物を強化するだけでは解決できない問題を突きつけられると同時に、人と人との繋がり、地域と人の関係といったソフト面からのアプローチがいかに大事かを考えさせられたのです。さらに未曾有の惨事となった原発事故はエネルギー問題に対する意識と危機感を急激に高め、環境やエネルギーとの関係に配慮した設計が、今までに増して切実に求められるようになりました。さらにマクロに見ると、少子高齢化に向かい、住宅や公共施設がだぶつくと言われるこれからの日本において、建築家がどのような役割を果たし、どのような未来を描こうとするのか、批判と期待の両方をもって問われるでしょう。こうした社会の変化に自分なりの考え方や手法で向き合う25組の建築家の取り組みを紹介します。

トークセッション「市民×建築家×美術館～市民ギャラリートライアルを振り返る～」

出品建築家3組と当館市民ギャラリー利用者の3団体との実験的な取り組みを総括するトークセッション。

出演者：山崎亮(コミュニティデザイナー/本展ゲスト・キュレーター)、彌田徹(建築家/403architecture [dajiba])、

出村まさと(モダンアート協会金沢支部)、家成俊勝(建築家/ドットアーキテクト)、

瀧下淑子(金沢市小中学校合同展運営委員)、垣内光司(建築家/八百光設計部)、国枝千晶(金沢アート工房主宰)

モデレーター：鷺田めろ(金沢21世紀美術館キュレーター)

日時＝3月15日(日) 19:00～20:30 会場＝金沢21世紀美術館 レクチャーホール

料金＝無料 定員＝80名(当日先着順) お問い合わせ：金沢21世紀美術館 学芸課 TEL:076-220-2801



ARCHITECTURE FOR DOGS 犬のための建築

開催中～
2015年5月10日(日)

「犬のための建築」は、犬の尺度で建築を捉えなおし、新たな建築の可能性を模索する、犬と人間の幸福のための真摯な建築プロジェクトです。地球に住むほとんどの人々は犬をよく知っています。そう言う意味で「犬」は大きな可能性を持ったメディアと考えられます。犬を介して、どんな新しい発想が広がるでしょうか。本展では、世界をリードする建築家・デザイナー13組がデザインしたものと、一般の方からのアイデア投稿の中から選ばれ制作されたもの、合わせて28作品をご紹介します。

企画・ディレクション:原研哉 共同企画:Imprint Venture Lab

参加作家:アトリエ・ワン、伊東豊雄、MVRDV、隈研吾、コンスタンチン・グルッチ、妹島和世、トラフ建築設計事務所、内藤廣、坂茂、藤本壮介、ライザー+ウメモト、原デザイン研究所、原研哉

金沢ナイトミュージアム2015 北陸新幹線開業記念

ワークショップ「犬のための建築」をつくろう

犬のための建築を考えて、1/5スケールの模型をつくってみるワークショップ。紙やステレンボード、段ボールなどの素材を使って制作。原デザイン研究所スタッフとpointed-Tのデザイナー三澤遥氏が、講師として制作をアシスト。

日時=3月14日(土) 16:00～19:30 (休憩、撮影含む) ※軽食持ち込み可

会場=金沢21世紀美術館 会議室1 参加費=無料 定員=15名

対象年齢=中学生以上、ただし保護者の制作補助を条件に小学生以下も可

募集条件=犬が好きで犬のことをよく観察していると自負されている方

お申込み=金沢21世紀美術館 学芸課 TEL:076-220-2801

長期プログラム



好奇心のあじわい 好奇心のミュージアム

開催中～
2015年3月

フードクリエイション+東京大学総合研究博物館

博物館の原点である「好奇心」をキーワードに展開する体験型の長期プログラム。諏訪綾子が主宰するフードクリエイションが、あらたな「食」の価値を提案し、あじわいの体験へと導きます。展示室で開催された「好奇心をあじわう小部屋」、「好奇心の祝宴」を経て、あじわいのプログラムは街中へと広がっていきます。

「ゲリラレストラン at 近江町市場」

「あじわい」や「味覚」をテーマに据え、実際に口に入れてあじわえるユニークで多彩なプログラムを展開する「好奇心のあじわい 好奇心のミュージアム」。昨秋の「好奇心の祝宴」に続き、今回は、新幹線開業という街の大きな転換点にあたり、金沢の食を象徴する場である「近江町市場」にゲリラレストランが出現。フードクリエイションが新しい食の価値観を提示します。

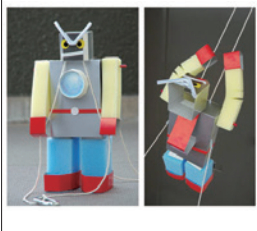
日時=3月14日(土) 13:00 / 16:00 / 19:00 15日(日) 13:00 / 16:00

会場=近江町いちば館広場 料金=3,000円(事前申込・当日精算) 定員=各回11名

主催=金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]、近江町市場商店街振興組合

プレスリリース 2月27日配信号

3月のキッズスタジオ・プログラム



キッズスタジオ・プログラム

ハンズオン・まるびい!

子どもも大人もいっしょに楽しめるスペースです。いろいろな造形遊びで、工夫と発見を楽しもう!

造形・映像制作ワークショップ

「まるびいを撮ろう～ 登れ! ノボロボ」

紙箱で作った「ノボロボ」に小さなカメラをとり付けて、ロボをロープ伝いに登らせながらビデオ撮影しよう! 廊下の柱や広場の木の上、君ならどこにロボを登らせる? そこから見たまるびいは、どんな景色かな?

進行=木村健(エドゥケーター)

日時=3月22日(日) 11:00~16:00

対象=小学3年生~中学3年生 定員=先着10名(要電話予約 076-220-2801)

参加費=500円 持物=飲み物、昼食、スナックなどの空き箱やカップ類

プレイルーム

日時=3月1日(日)、7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、28日(土)、29日(日) 13:00~16:00(自由入場)

場所=キッズスタジオ 対象=子どもから大人まで(小さなお子さんは保護者同伴) 料金=無料

(下はプログラムの例です。内容は日によって変わります。)

作ろう! 未来の『まるびいタウン』 ~ぼくらはアーキテクト

未来の君の家、まるびいのまちを作ろう



キッズスタジオ・プログラム

親子向け情報・休憩スペース

「まるびい・すくすくステーション」

キッズスタジオ内にある小さなお子様連れの方をサポートするスペースです。小さなお子さんとの散歩やひと休みするスポットとしても、ぜひご利用ください!

開催日=3月19日(木)までの毎週火木 10:00~12:30(自由入場)

会場=キッズスタジオ 対象=未就学児とその保護者

料金=無料



アトライブラリー・プログラム

絵本を読もう 「3.11以後の建築」とともに

絵本の読み聞かせのあと、展覧会を鑑賞しましょう。

日時=3月27日(金)14:00~(約40分)

対象=子どもから大人まで(幼児は保護者同伴) 料金=無料

集合=授乳室前(キッズスタジオ横)

読み手=大西洋子(ライブラリアン) 作品紹介=鷲田めるろ(展覧会担当キュレーター)

3月のステージイベント・プログラム



映画の極意 vol.15

MoMA ニューヨーク近代美術館
映画コレクション3月13日(金)～15日(日)
シアター21

毎年オリジナルプログラムで貴重なフィルムやゲストトークをお届けする金沢21世紀美術館「映画の極意」シリーズ。今回は、ニューヨーク近代美術館設立6年後の1935年に誕生した映画部門が誇る、80年にわたる膨大なコレクションの中から厳選。映画草創期に撮られた作品から、ウォルト・ディズニー自身がつくったアニメーションや、若き日のマーティン・スコセッシが自身の両親を撮ったドキュメンタリー、現代アート作家として知られるアンディ・ウォーホルが監督を務める作品まで、多彩で魅力的な作品群を復元版ニュープリント(ヴィンテージ・プリント)で上映します。

日時=2015年3月13日(金)、3月14日(土)、3月15日(日)

会場=金沢21世紀美術館 シアター21

託児サービス=有料・要申込み TEL 076-220-2815

※3歳児以下のご入場はお断りいたします。託児サービスをご利用ください。

お問い合わせ=金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811

<上映作品>

3/13(アンディ・ウォーホル プログラム)…「スクリーンテスト」、「ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ」

3/14…「ツーリスト」、「バンド・ワゴン」、「ニューヨークの地下鉄」、「暗黒の恐怖」、「女の叫び」、「男の友情」、

「イタリアン・アメリカン」、「フラッシング・メドウズ」、「スウィート・スウィートバック」

3/15…「ビッグ・トレイル」、「ニューマン劇場のお笑い漫画」、「悲しみよこんにちは」

<トーク>

「アメリカ映画がヌーヴェルヴァーグの先駆けとなるまで」 講師:越智道雄(おち・みちお)

氏の独自の視点と切り口により、今回のMoMA映画コレクションを始めとするアメリカ映画に描かれた人物や舞台、時代やストーリー展開、さらには、これらの映画を撮った監督などを例に、その背景にあるアメリカ社会の諸相や関連する世界情勢についてお話いただきます。

日時=3月15日(日) 13:30 会場=金沢21世紀美術館 シアター21

料金=無料 ※鑑賞券または半券の提示が必要

<料金>

◎当日券 1回鑑賞券 一般 1,000円 / 大学生以下 500円

※友の会会員の方は会員証のご提示により料金が割引になります。(一般 900円 / 大学生以下 450円)

◎前売券 2回鑑賞券 一般 1,600円 / 大学生以下 800円

フリーパス 一般 3,000円 / 大学生以下 1,500円

※大学生以下の方は学生証の提示が必要です。

※2回券は、鑑賞券2枚綴りとなっています。※フリーパスは、限定50枚の販売となります。

<チケット取扱>

◎窓口販売 金沢21世紀美術館ミュージアムショップ:TEL 076-236-6072

※窓口販売のみ 平日(月休)・日 10:00～18:30、金・土10:00～20:30

◎Web予約 当館Web申込みフォームにて予約受付中

※詳細情報、タイムテーブルは当館ウェブサイトまたはチラシをご覧ください。

3月の休館日

2日(月) / 9日(月) / 16日(月) / 23日(月) / 30日(月)

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館

広報担当:落合、中山

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1 TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp

※展覧会・イベントの開催時期や内容等は変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。